

2019年度 第1回 新宮市子ども読書活動推進会議概要

2019年6月13日（木）16時～17時15分

於：新宮図立書館2階 会議室

出席者：委員14名（代理1名含）、学校司書下村さん、図書館長、事務局1名

1. 会長挨拶／それぞれの立場で読書活動を推進していくこと、任期満了につき新会長選出についてなど。
2. 委員委嘱
3. 自己紹介／新任は、谷中委員（今回代理の方が出席）、生熊委員、竹村委員（欠席）、山本委員
4. 第二次新宮市子ども読書推進計画概要説明／事務局
5. 議題

①会長・副会長の選任／事務局案にて、会長：山崎委員、副会長：芝崎委員に決定

②今年度事業予定、現状等について

図書館：ボランティアや関係機関と連携した事業の継続実施。小学校への自動車文庫巡回も継続し、通常の自動車文庫や図書館の利用につなげたい。今年度新たなものは、熊野川行政局へのブックポスト設置とビブリオバトルの新宮市単独開催。協力をお願いしたい。

学校教育課：（委員欠席のため、事務局より報告）朝の読書や図書クラブ、ビブリオバトルなど読書に関する取組の継続実施、国語の授業との連携や本の紹介など学校司書の定期的な活動、学校図書館の電子化が進んでいる。今年度も読み語りボランティアによるおはなし会開催をお願いしたい。

文化振興課：図書館と協力しながら事業を進めていきたい。

丹鶴幼稚園：教諭によるよみきかせ（毎日）、市立図書館の見学、絵本の貸出し（実施済・継続実施中）、よみきかせボランティアの方によるおはなし会を開催予定。保護者の方への働きかけとして参観の中にも絵本を取り入れてはどうかとの提案有。クラス便りでも絵本に対する情報をお知らせして、親しんでもらおうという取組を行っている。

蓬萊保育所：毎日のよみきかせ、5歳児の図書館訪問と本の借出を実施中。今後、交代で月1回程度教諭によるおはなし会を開催予定。

学校司書（小学校）：今年度、王子ヶ浜小学校図書室の蔵書点検と分類を行いたい。電算化は実施済み。神倉小学校は昨年度電算化と分類の話が持ち上がり、2ヶ月閉館して実施した。また、学校運営協議会の意見により、地域コミュニティスペースを図書館の一角に作り、今後地域学習についてもそのスペースで発信していく。『お燈まつりの本』を作成したので、違うテーマの絵本の作成なども今後考えられる。三輪崎小学校・熊野川小学校についても同様に整備を進めていく。高田小学校では月に1回1時間、特別活動の時間を使って、ブックトークや読書の時間にあてたり、小中連携でビブリオバトルをするなど、教科の垣根を越えて取り組みをする予定。読書の時間やお昼休みのよみきかせや読書クラブの活動も実施中。

学校司書（中学校）：城南中学校、緑ヶ丘中学校、光洋中学校で電算化実施済み。城南中学校は今年度4月に電算化を終了し、オリエンテーションも行った。利用者が増加しており、貸出数も昨年度の3倍程度と

大幅に伸びている。電算化したことにより、統計も取れるようになり、学年別の傾向なども分かるようになった。電算化未実施の、高田中学校は分類作業終了、熊野川中学校は現在分類中。高田中学校と熊野川中学校では今年度も校内ビブリオバトルを実施予定。熊野川中学校では、夏休み前に先生のおすすめ本を発表してもらうために図書委員と活動中。

各学校で、朝の読書や季節の展示を行っている。図書委員の協力のもと、ポップ作りや、学級文庫の入替も行っている。よみきかせ・ブックトークの実施、教科に関連する本を、図書館から団体貸出して、先生方に授業で紹介後、教室に設置する、漢検・英検コーナーや、課題図書の展示を行っている。今後、図書委員と連携して、色々なイベントを行って読書活動を進めて行きたい。図書便りも今後発行したい。

熊野川中学校：校内読書推進委員会（校長、国語担当教諭、図書委員会担当教諭、学校司書）読書活動を推進していくために、子ども達にどのような働きかけをしていくかという会合を月1回開催していく。その中で上記先生のおすすめ本紹介も実施することになり、夏休み前の集会に向けて準備中。図書室に来ない子どもにも気軽に読書をしてもらえるよう、図書室以外のベンチの横に本棚を設置中。今後、校内ビブリオバトルや中学生から小学生に対するよみきかせもして行きたい。朝の読書継続中、司書によるよみきかせ、図書委員の活動（ポップ作成、学級文庫入替、委員おすすめ本）。リクエストボックスを設置するなど、委員会活動が活発になってきている。

新宮高校：4点報告あり。現状①朝の読書：授業時間が65分から45分、6限から7限に変更され、朝の読書が毎日になった。②読書感想文・読書感想画への出品③よみかたりボランティア事業継続実施。④図書委員会の毎週開催。書棚の整理を中心に活動している。

三輪崎小学校長：①ビブリオバトルについて先生の間でも認識の差があるが、面白い取組みなので、より広げて行きたい。②主に読書感想文の審査をしている学校図書館協議会というものがあり、昨年度は東牟婁郡の事務局をした。来年度の夏季セミナーは福井県での開催が予定されており、東牟婁から学校司書2名が発表を予定している。

おはなしの玉手箱：よみきかせ活動の継続実施（定例訪問/王子ヶ浜幼稚園、保育所、マリア保育園、紀南学園/月1回。わかば作業所/2ヶ月に1回。生涯学習課主催のおはなし会（くろしお児童館・三津野保育所/年1回）現状：昨年秋に新会員2名入会。1人が人形劇団に入っておられ、かみしばいやペープサートの動かし方などを折々に指導していただいている。その他、毎月の例会の際に、園などでよみきかせた絵本をお互いに紹介し合っている。自分の知らない絵本を知ることが出来、新鮮で楽しいひと時となっている。

ブック・ブック：基本的におはなし会など図書館内での行事に参加している。修理部門では、神倉小学校で作成したお燈まつりの絵本の製本も行う予定。新たに男性2名が入会された。図書館の本の修理も若干落ち着いているので、学校図書室の修理にも協力できればと思っている。よろしく願いたい。

会長：本の修理の希望があれば、図書館に連絡してもらえば良いか。

図書館：以前数冊、学校から預かり、ボランティアさんをお願いしたこと有。学校では修理が必要な本は沢山あるか。

学校司書：修理できるレベルでないものが多い。

ブック・ブック：バラバラになっているようなものでも、修理できるものもある。

学校司書：その際にはまた、おねがいしたい。

協議会委員：熊野川町の自動車文庫に、5年位関わってきた。自動車文庫が意外に知られていない。小学校への巡回が始まってからは、小学生には広まっているが、幼稚園や保育所には広まっていない。広報紙

などよりロコミが効果的なのではと思います、知り合いに声をかけたりしている。熊野川小学校に徒歩で通学できない生徒が半数近くおり、自動車文庫にも自力で来られない人が多い。小学校に巡回してもらえることになって良かった。海洋センターにも巡回しているが、自動車文庫駐車場所の舗装が悪く水たまりが多いので、何とかならないか。

図書館：それは、駐車場所を変更してほしいということか。

協議会委員：舗装を直してもらえればいいと思う。他に場所があれば、そこでもいい。

会長：海洋センターは、教育委員会が所管している。もう少し駐車場寄りにできればいいかと思うが。

生涯学習課：生涯学習課の担当ですが、予算を取っていないので、舗装は難しい。確認する必要があるが、駐車場の一角を使うのは可能なのではと思う。体育係長に確認します。施設側には伝えているか。

協議会委員：まだなので、伝えてみます。

生涯学習課：こちらからも話をしておく。

図書館：よろしくお願ひしたい。

協議会委員：自動車文庫の雰囲気はとてもいい。親が楽しまないと、子どもを連れて来てくれないので、小さい子ども連れの方がいる場合は、親御さんに楽しんでもらうように、月1回の情報交換やおしゃべりをして、親の来やすい雰囲気を作れたらいいと思っている。屋外なので、みんな構えずに来ることが出来るのが良い。

福祉課：直接的な読書推進はしていないが、障害者差別解消法が施行され、障害者の方ができるだけ日常生活を普通に送ることができるように、社会的な障壁を取り除いていかなければいけないということもあり、4月1日から手話言語条例を制定した。耳の聞こえない方が使う言語が手話であり、これを必要とする人がいるということを幅広い年代の方に知ってもらうために、昨年度『ゆびもじえほん』という絵本を福祉課で購入し、子どもに関する施設に設置した。さらに理解を深めたい方には、聴覚障害者協会の協力のもと、講座の開催なども可能なので、そのような場合には連絡いただきたい。今年度、老朽化した盲人会館を改築する予定。そちらの主な利用者である視覚障害者協会が点字プリンターを購入するので、その利用や希望があれば連絡いただきたい。

生涯学習課：8月にくろしお児童館、10・11月位に三津野保育所で、「おはなしの玉手箱」によるよみきかせの会を開催予定。この計画が策定されてから、3児童館にも周知した。図書室を有効活用したいという児童館もあるので、予算措置がなく図書の購入は中々難しいが、図書館の廃棄本を譲り受けることも含めて、図書の整備も行いたい。本の廃棄も出来ていないので、機会があれば、小学校の図書室見学や学校司書の方に指導を仰ぎたい。橋本児童館、下田児童館は部屋数があるので、図書室は静かに本を読む場所として子ども達にも周知している。浮島児童館は、スペースの都合で図書室専用でなく、半分遊戯室として使用しており、静かに本を読める環境でない。

子育て推進課：保健センター4階で保護者同伴の「ひろば」を開設している。そちらで、年齢別くらぶ（0歳前半、後半、1・2歳、2歳以上）を開催しており、絵本のよみきかせや、エプロンシアター、パネルシアター、ペープサートなど年齢に応じた形で実施している。2歳半健診で歯磨き指導や食育講座があるので、その際に関連絵本を読んでいる。くろしお児童館でも同様に絵本のよみきかせなどを行っている。年2回、おはなしの会を開催し、スタッフによるよみきかせの後、会場内に絵本を読むスペースを作って、親子で読書をする時間を設けている。乳幼児期のよみきかせを重要なものと位置づけて、親子で絵本に親しむ時間を作っている。

会長：色々な立場から、予定と現状を報告いただいたが、何か質問はないか。

事務局：小学校の電算化は、全部終了しているか。

学校司書：小学校は、神倉と王子ヶ浜が電算化済、三輪崎は一部、高田と熊野川は予定なし。

事務局：電算化済みの学校では、本の貸出も、システムで行っているのか。

学校司書：はい。小学校では、図書室に図書カードを設置し、記入して貸出という方法をとっている。神倉は今まで教室に図書カードを置いていて、今回の電算化作業で照合した際に、本の紛失がかなりあったので、現在は昼休みのみ貸出している。本来はいつでもオープンな方が良いと思うが、誰かが常駐していないので、利用方法が浸透するまでは、昼休みのみの利用に限っている。

会長：福祉課から、点字プリンターについて報告いただいたが、図書館にも障害のある方も利用できる点字付資料や大活字本が少しある。そのような資料があることを、関係団体の方などに伝えていただく機会はないか。

福祉課：それは可能です。今までは、障害のある方に対して、別に方策をとるという方向であったが、障害者差別解消法ができたため、同じ場所で同じ条件で利用できるようにするという風に変わってきた。図書館などにも、拡大読書器や音声読み上げ機の設置も検討していかなければいけないと思う。

会長：これからは連携して、障害者に対する読書サービスをレベルアップしていった方がよい。

福祉課：別箇ではなくて、障害のある方もない方も一緒に、というのが今の本来の姿なので、これからなるべくそのような環境を整える必要がある。

会長：他に質問はないか。なければ次の議題の岡田委員からの報告に移りたいと思う。

③岡田委員より報告

近畿学校図書館夏季セミナーでの発表について報告。和歌山県高等学校学校図書館協議会第5ブロック（東牟婁）の取り組みとして発表した「教職員のためのトリセツづくりー活用される図書館を目指してー」。概要は、学校図書館に係る者として、生徒に本を読んでもらいたい、読書の楽しみを生徒に知ってもらいたいという思いがあった。中々図書館を利用する機会のない生徒に対して、教職員からの働きかけが大事なのではないか、声をかけるだけではなく、実際に図書館で授業をするなど図書館を利用することによって、生徒が図書館に親しむことが出来るのではないかと考えた。教職員に意識を変えてもらうために、図書館側と教職員側両方の思いを取り入れた、教職員向けの図書室取扱説明書を作ろうということになった。教職員の利用状況を把握するためのアンケートをとり、7回の会議を経て作成。全教職員に配布した。図書館の設備整備につながった学校もあり、良い反響があった。

④その他

・委員構成について追加・統合など

芝崎委員より中学校司書の先生の参加について提案があったこと、図書館としても、図書館協議会委員と重複して務めていただいている方も多いので、協議会委員の構成も含めて、今後検討が必要なのではないかと考えている。いつでも結構なので、良いご意見があれば、よろしくお願いしたい。

・次回日程について

3月中の水曜日以外の、16：00以降に開催する。

以上